

中央公民館 大栄分館新築工事 ニュース

VOL.
03
2026年8月

開館準備委員会より一言 「見上げる高さへ！一気に立ち上がる建物のフレーム！」

皆さんこんにちは！
連日の暑さが続いておりますが、「北栄町中央公民館 大栄分館」の建設工事は、熱中症対策を徹底しながら着実に進んでいます。先月末からは鉄骨建方がスタートし、これまで地面の中だった工事から一転、一気に建物のスケール感が実感できるようになりました。



鉄骨建方(てっこつたてかた)の様子

先月の進捗 7月はこれをやりました！

7月は、基礎コンクリートの養生・脱枠、そして丁寧な土の埋め戻し作業を行いました。しっかりと頑丈な土台が完成したのち、予定通り「鉄骨建方(てっこつたてかた)」が始まりました。巨大な鉄骨が次々と組み上げられ、新しい公民館の立体的な骨組みが姿を現し始めています。



コンクリート脱枠の様子



埋め戻しの様子

今月(8月)の予定: 建物の骨組みが完成します

8月は、引き続き「鉄骨建方」の作業を行っていきます。建物のフレームが完成した後は、床部分の強度を高める「土間の配筋作業」、外壁部分の土台となる「外周部分の型枠組立て」、そして今後の本格的な外壁工事に向けた「外部足場の組立て」へと進んでいきます。地上からの立体的な作業が中心となり、工事の進みがより目に見えて分かる1ヶ月となります。

📢お知らせ: 施設の「愛称」ご応募 ありがとうございました。

7月31日をもちまして、「愛称」募集を締め切らせていただきました。温かい素敵なアイデアをたくさんいただき、心より感謝申し上げます。今後は、開館準備委員会において応募作品の中から10点を選定し、9月から10月にかけて町民投票を実施して新しい公民館の愛称を決定していきます。詳細は町のホームページ等でお知らせしますので、お楽しみにお待ちください！

現場の工夫

高所作業の安全対策と暑さ対策の徹底(安全第一)

鉄骨建て方や足場組立てなど、高い場所での作業が増える時期です。フルハーネス型墜落制止用器具の着用徹底や作業床の点検はもちろん、連日の猛暑による集中力低下を防ぐため、こまめな塩分・水分補給と休憩を計画的に取り入れています。

精度を見極める「建入れ直し」と堅固な「土間配筋」(品質管理)

組み上げた鉄骨がミリ単位で垂直・水平を保っているか、測定機器を使ってミリ単位で調整する「建入れ直し(たていれなおし)」を丁寧に行います。また、その後の土間配筋では、コンクリート打設時に鉄骨としっかり一体化するよう、鉄筋の間隔や重ね代(かさねしろ)を厳しくチェックして施工します。

お知らせ & トピックス

鳥取県産の木材をたっぷり使った「木の温もりを感じられる公民館」として生まれ変わります！

目でも肌でも感じる「木の魅力」: 内装の一部には、強度が高く美しい木目が特徴の「CLT(直交統合板)」などをそのまま見せるデザインを採用。施設を訪れた皆さんが、木の温かみや質感を心地よく体感できる空間をつくります。

地域みんなでつくるプロジェクト: 地元の森林を守り、地域の木材をしっかりと活かせるよう、設計者・施工者・地元の木材加工業者がひとつになって「木質化協議会」を立ち上げ、調達から施工まで力を合わせて進めています。

環境と暮らしを守る拠点に: 木を使うことは、二酸化炭素を吸収し(約19.4トン-CO₂の貯蔵効果)、地元の森林の保全にもつながります。災害時には安心の避難所となり、普段は多世代が心地よく集える地域の拠点を目指します。